

東日本大震災巨大水彩画  
「南三陸の黄金」  
(5.4m×16.4m)



竹下 景子



高塚 美奈子



菅田 広耶

災害は、何時起こるのかわからない。  
しかし、心の備えは、  
いつでも生きる知恵となる！

あの日から、七年の歳月が経とうとしています。  
震災を体験していない方も増えてきました。  
みなさんの震災の記憶、どう変化していますか。

東日本大震災の「語りつぐ記憶」

朗読と音楽の夕べ

katari-tsunagu

かたりつぐ

2018年3月10日〔土〕

開場 13:00 開演 14:00 (終演予定 16:00)

会場 多賀城市文化センター 大ホール

〒985-0873 多賀城市中央二丁目27番1号 TEL.022-368-0131

入場無料・要整理券

全席自由

※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
※応募による申し込みが必要となります。  
詳しくは裏面の応募方法をご覧ください。

出演 (順不同)

- 〔朗読〕竹下 景子(俳優) 〔講演〕ゲルスタ ユリア(ベルリン自由大学)
- 〔報告〕柴山 明寛 准教授(東北大学災害科学国際研究所)
- 〔演奏〕高塚 美奈子(ピアノ)／菅田 広耶(マリンバ)
- 〔合唱〕宮城県多賀城高等学校 合唱部

七人の記憶

- ・災害エフエムで心をつなぐ(岩手県陸前高田市 阿部裕美さん)
- ・被災地の劇場にて(宮城県仙台市 八巻寿文さん)
- ・サッカーの神様が振り向いて(宮城県多賀城市 ソニー仙台FC様)
- ・棺に納まりきれぬもの(宮城県仙台市 西村恒吉さん)
- ・過剰自粛からの脱却(宮城県仙台市 間庭洋さん)
- ・かえるマラソン(福島県川内村 遠藤雄幸村長)
- ・バンドラの匣を開けて(宮城県石巻市・東松島市 匿名)

Ustream中継  
13:55~

<http://ustre.am/UoAM>

会場までの  
アクセス

JR仙石線・多賀城駅下車→駅より徒歩7分



お車でご来場の方へ

駐車スペースに限りがございますので、  
なるべく公共交通機関をご利用ください。

お問合せ

東北大学災害科学国際研究所  
災害アーカイブ研究分野

TEL.022-752-2099



TOPPAN

主催：多賀城市／東北大学災害科学国際研究所／宮城学院女子大学／かたりつぐ仙台実行委員会／復興支援コンサート実行委員会(神戸)

後援：宮城県／岩手県／福島県／多賀城市教育委員会／仙台市／石巻市／東松島市／岩手県陸前高田市／福島県川内村／(公財)仙台市市民文化事業団／NHK仙台放送局／TBC東北放送／KHB東日本放送  
ミヤギテレビ／仙台放送／エフエム仙台／河北新報社／毎日新聞仙台支局／産経新聞社東北総局／朝日新聞仙台総局／読売新聞東北総局

協賛：積水ハウス株式会社／凸版印刷株式会社



# 災害は、何時起こるのかわからない。しかし、心の備えは、いつでも生きる知恵となる!

あの日から、七年の歳月が経とうとしています。みなさんの震災の記憶は、どう変化しているでしょう。

今年の証言は、7年を経て、今、思うことを、みなさんがそれぞれの立場から語ってくださっています。

被災地では、復興のかたちが現れてきた地域もずいぶんあります。

一方、福島は原発で壊れたふるさとに戻れない人々も多く、複雑な問題は続いており、

岩手県、宮城県、福島県全体で、約8万人が避難先で生活しています。

自然災害はかならずやってきます。

震災の体験のない方も増えつつある昨今は、震災の記憶を伝えることも大切な防災活動です。

<p><b>竹下 景子</b></p> <p>1953年9月15日生まれ。 愛知県名古屋出身。東京女子大学卒業。 NHK「中学生群像」出演を経て1973年NHK銀河テレビ小説「波の塔」で本格デビュー。テレビ・映画・舞台への出演の他2005年日本国際博覧会「愛・地球博」日本館総館長をはじめ「世界の子どもにワクチンを日本委員会」ワクチン大使、国連WFP協会親善大使、京都国立博物館文化大使、C・C・C富良野自然塾でのインストラクターなど幅広く活動している。1999年より阪神淡路大震災復興支援メモリアルコンサートに参加。東日本大震災の後、2012年3月からは東北での「かたりつぎ」朗読と音楽のタペに参加し、今年で7回目となる。</p>	<p><b>ゲルスタ ユリア</b></p> <p>(ベルリン自由大学博士課程)</p> <p>ドイツ出身。ベルリン自由大学博士課程。文化人類学、日本学専攻。東日本大震災における避難先コミュニティの人間関係の変化について研究している。</p> 	<p><b>柴山 明寛</b> (しばやまあきひろ)</p> <p>静岡県出身。2006年工学院大学院建築学専攻博士課程修了。2008年東北大学災害制御研究センター助教を経て、2012年から東北大学災害科学国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。地震災害を建築工学、地震工学地域防災などの様々な視点から防災・減災方法を研究。東日本大震災以降、震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に従事し、震災復旧復興支援、南海トラフの防災対策、災害記録・記憶の伝承に繋げる研究を行っている。</p> 
<p><b>高塚 美奈子</b></p> <p>宮城学院女子大学音楽科卒業。研究科修了。野沢真弓、林秀光の各氏に師事。ソロのほかアンサンブルピアニストとして多くの音楽家と共演を重ねている。現在、宮城学院女子大学、仙台幼児保育専門学校、各非常勤講師。東北文化学園大学特任教授。(社)日本演奏連盟会員。(社)全日本ピアノ指導者協会PTNA正会員。</p>	<p><b>誉田 広耶</b> (ほんだひろや)</p> <p>多賀城市在住のマリンバ・打楽器奏者。山形大学教育学部生涯教育課程音楽文化コースを卒業後、フリーのマリンバ・打楽器奏者を経て渡米。ボストン音楽院大学院GPD (Graduate Performance Diploma) 科のマリンバ専攻生として世界的マリンバ奏者であるナンシーゼルトマン、布谷史人、ピアニストのカール・ポーニャックの各氏に師事し2010年に卒業し、帰国。現在は、マリンバ奏者としてだけではなく、パーカッションニストとしてライブやレコーディングに参加するなど、マルチな活動を展開。小・中・高校生の吹奏楽指導や自身が主宰する教室「誉田広耶マリンバ・パーカッション教室」において、後進の指導にも力を注いでいる。 &lt;オフィシャルサイト&gt;<a href="http://hiroyahondamarimba.weebly.com">http://hiroyahondamarimba.weebly.com</a></p>	<p><b>宮城県多賀城高等学校合唱部</b></p> <p>私たちは、TCC (Tagajo high school Chorus Club) の愛称で、毎年、様々なコンクールの他、多賀城市の市民音楽祭や復興住宅でのミニコンサートなどの演奏会に参加しながら積極的に活動しています。現在は3年生が引退し、1・2年生8名となりましたが、日々楽しく活動しています。</p> 
<p><b>証言編集 水月りの</b></p> <p>仙台市生まれ。慶応大学法学部卒。詩人、俳人。宮城県芸術協会会員、小瀬座同人。2003年、句集「人魚姫のトウシューズ」で加美俳句スウェーデン賞受賞。2011年、詩「虹の楳」死神の涙」で宮城県芸術協会文芸賞受賞。大沼英樹氏とのコラボレーションによるPOEM&amp;PHOTOが、雑誌「らら」に掲載されている。</p>	<p><b>背景画 加川 広重</b></p> <p>宮城県蔵王町出身。武蔵野美術大学油絵科卒業。震災を巨大画で表現し、伝えていく活動を行っている。2013年より被災地を繋ぐプロジェクト「加川広重巨大絵画が繋ぐ東北と神戸」をデザインクリエイティブセンター神戸にて3度開催。平成24年度宮城県芸術選奨新人賞。</p> 	
<p><b>司会 飯田 利加</b></p>	<p><b>演出 志賀野 桂一</b></p>	<p><b>舞台監督 白津 守康</b></p>

## 応募方法 | 締切 / 2018年2月20日(火) 消印有効

### 往復はがきにて応募ください

往復はがきの往信面の裏に  
①イベント名、希望人数  
②住所③氏名④電話番号を、  
返信面の表に住所、氏名を  
ご記入のうえ、お申込みくだ  
さい。詳しくは右記をご覧ください。  
※1枚で2名様まで  
ご入場できます。

●結果通知:  
返信ハガキにて通知  
※先着順、定員になりしだい  
締切り

<p>切手 62</p>	<p>— 往信 — 〒980-8799</p>
<p>仙台中央郵便局留 「かたりつぎ」係</p>	<p>この欄は 記入不要です。</p>

往信(おもて)

返信(うら)

<p>切手 62</p>	<p>— 返信 — 〒□□□-□□□□</p>
<p>あなたのご住所 あなたのお名前様</p>	<p>①「かたりつぎ」係 希望人数 1人 又は2人  ②ご住所  ③お名前 ※2名で応募の場合は 2名のお名前を お書きください。  ④お電話番号</p>

返信(おもて)

往信(うら)